

健康福祉常任委員会会議記録（概要）

令和4年11月16日（水）

開 会（午後2時0分）

【議 事】

特定事件「地域福祉について」

- ・今後の委員会の審査について

休 憩（午後2時1分）

（休憩中に協議会を開催）

再 開（午後2時28分）

石原委員長

当委員会では、地域福祉における地域課題の解決に向けた行政の連携やコロナ禍を踏まえた今後の対策や仕組みづくりなどについて、委員会として提言を行うこととしています。本日は、提言案についての協議を行いたいと思います。

これまでの委員会の審査内容を踏まえ、提言案を正副委員長で作成し、事前に配信させていただいております。

この約2年間、委員会では活発に調査活動や行政視察を行ってきました。コロナ禍において、市が取り組んできたことも活動が停滞し、なかなか通常の活動が続けられない中で、これからどうやって再スタートしていくかというところで、いろいろなキーワードの中で皆さんから、垣根を越えた連携や連帯が地域の中でもっと必要ではないかという御意見を頂

いてきました。そういったことをメインに提言にしていきたいと思い、案をまとめてきました。これについて、御意見はありますか。

村上委員

掲題にもある「地域福祉の再生」という言葉は少し概念的なところも見られるので、コロナ禍で分断された様々な支え手、担い手などのネットワークを再生するものとして重視する内容にしてはどうかと考える。

末吉委員

当委員会がこの2か年に取り組んできた中で、障害者団体をはじめとして様々な市民からの御意見を聞き取る場面を多々つくってきた。その点を前文に付記していただきたい。

谷口委員

子ども福祉の中で、子どもの貧困や児童虐待問題といった具体的な課題を書いているが、やはり最近顕在化してきているヤングケアラーの課題については、他の先進的な自治体も具体的に進み出してきているので、具体的に記載してはどうか。

越阪部委員

提言の3に当たるのかもしれないが、誰もが集ってコミュニケーションができるような場づくりが、一つ取り組んでもらいたいこととと思っている。誰一人取り残さない、誰もが遊べる公園のようなものも含めて、集う場、場づくりのことも提言の中に入れていただきたい。

長岡委員

「助けを必要とする立場の人々」を一日でも早く見つけ出しという部分は、この2か年でできなかったところなので、行政側から早く見つけ出すということはもちろんお願いしたいところだが、逆に、本当に助けを必要とする人々が声を上げやすい体制の整備というのもコロナ禍での重要な観点だと思うので、そういった文言を加えていただきたい。

城下委員

所沢市独自で頑張る部分のほかに、国や県との連携も必要だと思うので、提言の内容に盛り込んでいただけたら、より一層よい内容になると思う。

石原委員長

本日の皆さんからの意見を基に、正副委員長案を修正し、次回の委員会で協議していきたいと思います。

散 会（午後2時35分）